

全体についての防火管理に係る消防計画

第1 目的及びその適用範囲等

1 目的

この計画は、消防法第8条の2第1項に基づき、統括防火管理者が、
の全体についての防火管理上必要な業務に係る事項を定め、火災を予防するとともに、火災、地震その他の災害等による人命の安全及び被害の軽減を図ることを目的とする。

2 適用範囲

この全体についての消防計画を適用する者の範囲は、
に勤務し、出入りする全ての者とする。

第2 管理権原者及び防火管理者の責務

1 管理権原者の責務

管理権原者は、各々が定めた防火管理者の作成する消防計画（以下「事業所の消防計画」という。）に基づき、当該防火管理者に防火管理上必要な業務を実施させ、適正にその業務を遂行する。

管理権原者は、消防法施行令第4条に規定する必要な資格を有する者の中から統括防火管理者を協議して定め、防火対象物の全体についての防火管理上必要な業務を行わせること。

協議の方法は、
とする。

管理権原者は、統括防火管理者が防火対象物の全体についての防火管理上必要な業務を適切に遂行できるように協力する。

管理権原者は、統括防火管理者を定めたとき又は変更したときは、所轄消防長に届け出る。

2 統括防火管理者の責務

統括防火管理者は、次の権原及び責務を有し、必要に応じて各管理権原者の指示を求めながら、防火対象物全体についての防火管理業務を円滑に推進するものとする。

ア 防火対象物全体についての消防計画の作成、変更及び届出に関すること。

イ 各事業所の防火管理者又は防火責任者及び防火管理業務に従事する者（以下「防火管理者等」という。）に対する指導、指示並びに必要な報告に関する事。

ウ 防火対象物全体についての消火、通報及び避難の訓練の実施に関する事。

エ 防火対象物の廊下、階段、避難口等の避難上必要な施設の管理に関する事。

オ 火気使用の制限及び禁止に関する事。

カ その他防火対象物全体についての防火管理上必要な業務に関する事。

統括防火管理者は、防火管理上必要な事項について防火管理者等からの報告に基づき、調査を行い、必要に応じて消防機関へ届出又は連絡を行うとともに、防火管理者等に対し、火災予防上必要な措置を講ずるよう指示することができる。

統括防火管理者は、作成又は変更した当該計画の内容を各事業所に周知するものとする。

3 各事業所の防火管理者の責務

各事業所の防火管理者は、統括防火管理者の指導、指示を遵守するとともに、防火管理上必要な事項について統括防火管理者に報告しなければならない。

各事業所の防火管理者は、統括防火管理者が作成する全体についての消防計画に適合するよう、各事業所の消防計画を作成、整備し、防火管理業務を行わなければならない。

各事業所の防火管理者は、相互の連絡を保ち、協力して防火管理業務を行わなければならない。

第3 全体についての防火管理業務

1 管理権原者の権原の範囲等

管理権原者の当該権原の範囲

防火対象物の各管理権原者の当該権原の範囲については、別記のとおりとする。

防火対象物の法定点検は次のとおり実施する。

ア 防火対象物の法定点検は、_____の責任により行う。

イ 点検を実施する場合は、事業所の防火管理者等が立ち会う。

消防用設備等の法定点検は次のとおり実施する。

ア 消防用設備等の法定点検は、_____の責任により行う。

イ 各管理権原者は、点検に必要な場所への立入りを認めるなど、点検が適切に実施できるよう協力する。

ウ 点検を実施する場合は、事業所の防火管理者等が立ち会う。

自主点検等は次のとおり実施する。

ア 統括防火管理者は、別表1「自主検査チェック表」及び別表2「消防用設備等自主点検チェック表」に基づき、自主点検を実施するものとする。

イ 自主点検の実施時期は、_____とする。

ウ 統括防火管理者は、事業所の消防計画に基づく自主点検時にあわせて実施される消防用設備等の特例適用条件の適否状況について確認する。

点検結果の記録

統括防火管理者は、防火対象物及び消防用設備等の法定点検の結果を取りまとめ、各管理権原者に報告するとともに、その取りまとめた記録を防火管理維持台帳に保管する。

不備欠陥箇所の改修

統括防火管理者は、点検・検査により明らかになった不備欠陥について、速やかに改修するための必要な措置を図るものとする。

1の2 全体についての防火管理業務の一部委託

防火対象物の全体についての防火管理上必要な業務の一部委託を受けて全体についての防火管理業務に従事する者(以下「受託者」という。)及びその業務の範囲等については、別表3「全体についての防火管理業務の一部委託状況表」のとおりとする。

受託者は、この計画に定めるところにより、全体についての防火管理業務を適正に行うとともに、当該防火対象物の各管理権原者及び統括防火管理者の指示の下にその業務を実施する。

受託者は、受託した全体についての防火管理業務の実施状況について、定期的に統括防火管理者等に報告する。

2 自衛消防訓練

統括防火管理者は、防火対象物の全体についての消火、通報及び避難等の訓練を_____に実施する。

統括防火管理者が、前号の訓練を実施しようとするときは、あらかじめ別表4「消防訓練実施計画報告書」にて消防機関へ報告する。

統括防火管理者は、自衛消防訓練終了後直ちに実施結果について検討し、別表5「消防訓練実施結果報告書」に記録し消防機関へ報告するとともに、以後の訓練に反映させるものとする。

各事業所の訓練は、各事業所の消防計画に定めるところにより実施する。

3 避難施設等の維持管理及びその案内

統括防火管理者は、次により、廊下、階段、避難口、安全区画、防煙区画等の避難施設を適正に管理する。

廊下、階段、避難口、通路等の避難施設

ア 避難の障害となる設備又は物品を設けない。

イ 床面は避難に際し、つまずき、すべり等を生じないように維持する。

ウ 避難口等に設ける戸は、容易に解錠し開放できるものとし、開放した場合は廊下、階段等の幅員を有効に保持する。

安全区画、防煙区画の維持管理

ア 防火戸は、常時閉鎖できるようにその機能を有効に保持する。

イ 閉鎖の障害となる設備又は物品を設けない。

避難経路の案内

防火管理者は、従業員、施設利用者等及び他の在館者（以下「従業員等」という。）に避難口及

び避難階段の位置を把握させるために、必要に応じて避難経路、避難口等を明示した標識を掲出する。

4 自衛消防活動等

火災、地震その他の災害等による人的又は物的な被害を最小限にとどめるため、防火管理者は相互に連絡、協力して火災、地震その他の災害に対応する。

通報連絡

火災を発見した者は、直ちに消防機関(119番)へ通報するとともに、統括防火管理者及び防火管理者等に報告する。

消火活動

ア 火災発生現場の近くにいる者は、従業員等と協力して初期消火を行う。

イ 事業所の消防計画において初期消火の任務を担当している者は、統括防火管理者の指揮下で、相互に協力して消火活動を行う。

避難誘導

ア 事業所の消防計画において避難誘導の任務を担当している者は、従業員等を安全な場所へ避難誘導する。

イ 事業所の消防計画において避難誘導の任務を担当している者は、避難誘導の際に、負傷者及び逃げ遅れた者等の把握に努め、知り得た情報を当該事業所の防火管理者及び統括防火管理者に報告する。

休日・夜間等における防火管理体制

休日・夜間等に発生した災害等に対しては、次の措置を行う。

ア 火災を発見した場合は、直ちに消防機関(119番)に通報後、初期消火活動を行うとともに、防火対象物内の従業員等に火災の発生を知らせる。

イ 営業時間外等に発生した災害等に対しては、在館中の事業所の従業員及びその他防火管理業務に従事する者が協力する。

ウ 事業所の防火管理者は、火災、地震その他の災害等により被害が生じた場合は、統括防火管理者に報告する。

ガス漏えい事故防止対策

ア ガス漏れ火災警報設備によりガスの漏えいを知り得た者は、直ちに統括防火管理者及び防火管理者に報告し、防火対象物内の従業員及びその他防火管理業務に従事する者が相互に協力して、ガス爆発及び中毒による災害等の発生を防止する。

イ ガス漏えい事故防止の対策及び出火防止対策は、当該ガスを消費する事業所の防火管理者が事業所の消防計画に定める。

自動火災報知設備等と連動した通報(自動通報)対応

自動通報を利用している事業所の防火管理者は、自動火災報知設備が作動し、火災通報装置から消防機関へ通報されたときには、必要な初動措置を図るとともに、直ちに統括防火管理者に報告するものとする。

5 消防隊に対する情報提供及び消防隊の誘導

情報提供

統括防火管理者は、火災、地震その他の災害等が発生した際に消防隊に対して情報提供するため、次に掲げる図書等を_____に管理する。

ア 防火対象物の概要表、平面図、詳細図、立面図、断面図、仕上げ表、設備図及び建具表等

イ 火気使用設備器具等の位置、構造等の状況を示した図

ウ 緊急連絡先一覧

エ 防火管理維持台帳

消防隊の誘導

火災、地震その他の災害等が発生した際は、消防の通信指令員の指示に従い、防火対象物の適所に消防隊誘導のための誘導員を配置する。

6 教育・資格管理業務

防火教育

ア 統括防火管理者は、防火管理業務に従事する者に対して、防火管理業務に必要な知識、技術を高めるための教育を行う。

イ 統括防火管理者が実施する教育は、防火対象物の全体についての訓練時にあわせて実施する。

防火教育の内容

統括防火管理者が行う防火管理業務に従事する者に対する防火教育の内容は、次による。

- ア 全体についての防火管理に係る消防計画の内容周知
- イ 各事業所の権原の範囲とその責務等
- ウ 自衛消防隊の編成とその任務
- エ 消防用設備等、防災設備等の機能及び取扱要領
- オ 廊下、階段、避難口、安全区画、防煙区画等の避難施設の維持管理
- カ 地震及びその他の災害が発生した場合の自衛消防活動に関する事項
- キ その他火災予防上及び自衛消防活動上必要な事項

放火防止対策

統括防火管理者は、次の放火対策を推進する。

- ア 建物内外の可燃物等の除去
- イ 物置、空室、雑品倉庫等の施錠管理の徹底
- ウ 拳動不審者への声掛け
- エ 死角となりやすい廊下、洗面所等の可燃物の除去
- オ その他 _____

工事中等の安全対策

ア 統括防火管理者は、複数の事業所にわたる増築、模様替え等の工事が行われる場合、当該工事を行う防火管理者等と協力して「工事中の消防計画」を作成し、所轄消防署長へ届け出る。

イ 統括防火管理者は、各事業所が行う用途変更・間仕切変更・内装等の変更工事等又は催物の開催など不定期に行われる工事等に関し、必要に応じて、工事・催物等の計画内容等の確認や現場確認を行い、法令適合の確認や火気管理等の防火上の確認を行うものとする。

甲種防火管理再講習

各管理権原者は、防火管理者の資格管理を適正に行い、甲種防火管理再講習の受講を徹底する。

7 震災対策

震災に備えての事前計画

ア 建築物等の点検及び補強

統括防火管理者は、建築物及び建築物に付随する工作物（看板、装飾塔等）の倒壊、転倒、落下防止の措置状況を把握し、必要に応じて補強する。

イ 避難施設等の点検及び安全確保

統括防火管理者は、事業所が実施する避難施設及び防火設備の点検状況を確認し、不備等がある場合は、事業所の防火管理者に対して必要な措置を講じるよう指示する。

ウ 資器材及び非常用物品の準備

(ア) 各管理権原者は、地震その他の災害に備え、事業所の消防計画に基づき、救助救護等の資器材及び非常用物品を準備し、維持管理する。

(イ) 防火対象物の全体についての資器材及び非常用物品等は、_____に次のものを配置する。

種 別	品 名
応急手当用品	
救助作業用資器材	
非常用物品	

(ウ) 統括防火管理者は、(イ)の資器材及び非常用物品等の点検、整備を定期的実施する。

エ 周辺地域の事業所、住民等との連携及び協力体制の確立

統括防火管理者は、周辺地域の事業所又は住民等との災害時の連携について、各管理権原者と協議し、協力体制の構築を図るように努める。

オ 大規模地震発生時の対応措置

統括防火管理者は、大規模な地震発生の予知情報が発表された場合には、館内放送等により在館者等へ伝達するとともに、各防火管理者に消防計画に定める対応を行わせる。

カ 従業員等の一斉帰宅の抑制

(ア) 統括防火管理者は、帰宅困難者の発生による混乱を防止するため、在館者等に対し「む

やみに移動を開始しない」ことを館内放送等により広報する。

- (イ) 各管理権原者は、統括防火管理者に対して災害時に従業員等が安全に待機できる場所（以下「施設内待機場所」という。）を確保させ、維持管理を行わせる。

施設内待機場所・・・ _____

キ 帰宅困難者への情報提供

統括防火管理者は、公共交通機関の運行状況、二次災害に備えた余震、津波、火災等の危険に関する情報の把握に努め、館内放送等を活用して、在館者等に適宜伝達する。

震災時の活動計画

ア 震災時の自衛消防隊の任務

- (ア) 統括防火管理者は、防火対象物全体の被害状況を把握し、防火管理者に周知するとともに、必要な措置を行わせる。
- (イ) 防火管理者は、事務所の被害状況及び活動状況を把握し、自衛消防隊に必要な措置を行わせるとともに、統括防火管理者に報告する。
- (ウ) 被害のない事務所又は活動の終了した事務所の自衛消防隊は、統括防火管理者から活動要請があった場合は、協力して活動を行う。

イ 緊急地震速報の活用

統括防火管理者は、訓練及び防火教育の機会を捉えて、緊急地震速報の受信方法及び活用方法等について、従業員及びその他防火管理業務に従事する者に周知し、効果的な活用を図る。

ウ 危険物等の流出、漏えい時の緊急措置

統括防火管理者は、危険物、毒物、劇物、薬品、高圧ガス等が流出又は漏えいが発生した場合は、自衛消防隊を活用して応急の措置を行う。

エ 初期救助・救護活動

- (ア) 防火管理者は、事業所の消防計画に基づく安全措置を講じ、人的被害の状況及び建物、火気使用設備器具等の点検結果を統括防火管理者に報告する。
- (イ) 統括防火管理者は、全体の被害状況を把握し、防火管理者に必要な応急措置を行わせる。
- (ウ) 周辺地域で救助や消火が必要な場合は、協力して対応する。

オ 被害状況の把握等

- (ア) 統括防火管理者は、地震による建物の倒壊、火災の発生等の被害状況及び鉄道等公共交通機関の運行状況を把握し、防火管理者に周知する。
- (イ) 防火管理者は、周囲の被害状況を掲示板、拡声器等を用いて、従業員等に周知する。

カ 周辺地域の事業所・住民との連携

統括防火管理者は、防火対象物内の安全が確認できた場合は、周辺地域の事業所又は住民の応援に努める。

キ 従業員等の施設内待機等

(ア) _____は、災害関連情報等を収集し、施設周辺の災害状況を把握するとともに、施設の安全点検のため、別表6「施設の安全点検のためのチェックリスト」の項目に従い確認し、管理権原者に報告する。

(イ) 管理権原者は、(ア)の報告を踏まえ、施設内で待機できるか判断する。

(ウ) 管理権原者は、施設周辺の状況や施設の被害状況等から施設の安全性が確保できないと判断した場合は、統括防火管理者の指揮の下、一時避難場所等へ従業員等を誘導する。

施設再開までの復旧計画

ア ガス、電気、上下水道、通信等途絶時の対策

(ア) 統括防火管理者は、ガス、電気、上下水道、通信等途絶時に、非常用電源等の非常用物品を活用し対応する。

(イ) 統括防火管理者は、地震後の二次災害発生を防止するために、火気使用設備器具、電気器具等からの火災発生要因の排除又は使用禁止措置を行う。

イ 危険物、ガス、電気等に関する二次災害発生防止措置

(ア) 統括防火管理者は、建物内に立ち入ることが危険と判断した場合は、立入禁止の措置を行い、防火管理者に周知する。

(イ) 防火管理者、従業員及びその他防火管理業務に従事する者は、危険物及びガスの漏えいを確認した場合は、その都度、統括防火管理者に報告するとともに、適切な処置を行う。

ウ 被害状況の把握

防火管理者は、消防用設備等の被害状況を把握し、異常があった場合は、統括防火管理者に報告する。

エ 復旧作業等の実施

(ア) 統括防火管理者は、復旧作業者に対し、消火器具の準備、避難経路の確認を行わせた後、復旧作業を行わせる。

(イ) 統括防火管理者は、建物の使用再開するときは、安全管理体制を確立するとともに、再開の時期等を各事業所に周知する。

第4 雑則

経費の分担

本計画に基づき、経費を必要とする事業を行うときは、その都度協議し、経費の分担を決定するものとする。

附則

この計画は、_____年___月___日から施行する。